

元副市長の私物化を追及

元副市長 2 人が関与の疑い！

＝経緯＝ (肩書は当時のもの)

- 平成 18 年 河内副市長と堀之内企画部長が中心となり、川辺堀之内・区画整理組合(＝民間)の設立準備会が立ち上げられる。
- 平成 19 年 組合が、進行管理契約を、市の推薦した日野市企業公社に決定した直後に、堀之内氏が退職。企業公社社長となる。
- 平成 21 年 組合設立。以降、堀之内・企業公社社長が組合を牽引。
- 平成 24 年 堀之内氏の推薦で、河内氏が、理事長相談役に就任。



詳細は、奥野倫子公式ホームページの
議会報告をご覧ください



市の助成金が食い物に！

- 平成 25 年 堀之内氏が副市長に就任。その途端に、河内氏の「市立病院・院長相談役」の月給が 8 万円 UP。
- 平成 26 年 堀之内副市長の下で、市の「組合施工」の区画整理に対する助成金の支給要綱が改正される。この改正により、川辺堀之内で築造される道路の 55%から 97%に対象が格大され、助成金も同時に 3000 万円にUP。河内氏の出来高払いの委託料も、これに連動して 3000 万円から 5800 万円にUP！
- 平成 28 年 日野市の助成金は「道路築造と公園等公共施設」を対象としていたが、2 度目の改定により、「宅地造成、整地工事、擁壁築造、その他施設の建設」が追加された。10 億円の余剰金を出している組合に対する「不必要な大盤振る舞い」である。この改定により、日野市の助成金が 8000 万円に増えるや、河内氏の“出来高払い”の委託料も、8000 万円にアップした！市の助成金は 7 億 8000 万円で確定している。
- 平成 29 年 堀之内氏が、副市長の 4 年の任期を終了し、退職金・約 1000 万円を受領。助成金は 4 億円が投入済み。

組合が提出した資料には、堀之内氏が副市長であった 26 年から 29 年までの契約書が存在しません。奥野りん子は、「契約書や支払い明細の中に堀之内氏の名前が含まれているので意図的に隠したのでは？」と、告発。「堀之内氏に関しては、河内氏の“臨時職員としての兼業”と違い、現職の副市長の“兼業疑惑”なだけに、日野市の責任は重い。市長の減給でお茶を濁してはならない」と市長に釘を刺しました。

第三者委員会の報告を読むと、河内氏は、高額な報酬にかかる税金分まで組合に補填させており、組合を牛耳っていたことがわかります。市は、東京都と共に、これから調査する」と言っていますが、行政調査は、助成金が申請通りに使われている以上、踏み込むことはできません。証拠が隠ぺいされている以上、日野市や組合から刑事告発すべきです。

組合会計への影響額・10 億円超？

- 1、発注先のわからない委託料が、8 年間で 5 億 427 万円もあり、そのうち、河内氏に渡ったと見られる金額は 2 億 8642 万円。
- 2、「予定価格の公表」「指名競争入札」という最も談合の起きやすいスタイルで、工事契約を 2 社に独占させている。「歩掛」と書かれた不可解な工事契約や、144m の整地費用が 1 億 400 万円もするあるいは高額工事契約が存在。水増し相当分は約 4 億円と見られる。
- 3、莫大な余剰金が出る度に事業会計を変更。「保留地の処分単価を相場以下に引き下げて随意契約で売る」というとんでもない手法で売買。影響額は約 4 億円と見られる。影響総額 13 億円に及ぶ。